



# イソブキ便り

NO.2 平成23年度 下半期号

須佐連絡先 080-3458-0925 / 0557-23-3501 mamo@knossos.jp



## 「風力問題」意見交換会

三井大林自治会、奈良本区で被害にあっている方に集まってもらい、天目の風力発電について意見を交わしました。議員側も3名出席しました。

これまで30回にわたり自治会・町・事業者の間で、「三者協議」という形で風車による騒音被害など様々な問題点を話し合ってきました。それが半年ぐらいストップし、一服感が漂っています。先ことは町役場に一任してきましたが、まだまだ話し合う必要があります。

今後、議会ですれをどう反映していくか、議員間でも相談しました。国の政策もかわってくることで、解決には時間がかかるかもしれませんが、検証をすすめる必要はありません。(11/15)

## 決戦の金曜日

天城三筋山の自然を守るため、伊豆の二団体(うち4団体が中心的役割)60数名が県庁へ出向き、建設が予定されている

1基の風力発電に対し、知事に反対行動を展開しました。

知事は公務のため会うことができず、各担当部署から9名の責任者が説明に入りました。



大島近海沖地震の時、風車建設予定地付近で起きた大規模な土砂崩れがあった。

すでに河津町も東伊豆町も建設の許可を出していますが、静岡県知事が住民感情を考慮して有識者会議を開催することを約束、解除憂慮の最終報告を受けました。

しかし、県の森林審議会は三筋山の水源涵養保安林を解除する決定を行い、これが国に報告されることになって国有林の使用許可も検討に入っています。まさに「待たなし」の状況になり、あとは知事がどう判断を下すかになってい

## 12月議会はじまる

「天目の風力発電施設について」第三者会議の再開の見通しを聞くと、近く社長を呼んで解決を図りたい。と答弁！

「景観に対する意識」三筋山の風力発電施設と奈良本に多い「廃墟」について質す。

「町の交通アクセス」利用者が減少する中、稲校生が利用しやすい時間を提案。また、スクールバスの利用についても質す。

## 渡辺周防衛副大臣の

### 『年末の集い』



「お前はいつまで「副」がついているんだ」と言われる。と笑いを誘う場面も。

毎年この時期に行われる渡辺周代議士の年末の集いに出

席しました。ちょうどこの日は50歳の誕生日でした。ゲストの櫻井よしこ氏の痛烈発言に爆笑と苦笑の渦…。

## 「エコモデルツアー」に参加

秋田県鹿角市のエコモデルツアーに参加しました。今回の企画は、再生可能エネルギーの施設が多く点在する鹿角市で、それらを実際に見て、体験して、学ぶことが観光と結びつくかどうかを実証しようとする試みです。

大雪の中、風力や地熱、バイオディーゼル、ソーラー発電などの施設を回って、観光誘客できるかどうかを我々ツアー客30人が実体験しました。



八幡平の別荘管理会社が経営する「ピーナツもやし」の温泉水耕栽培施設を見学。

文教厚生常任委員会 議会広報編集委員会 議会運営委員会 健保運営協議会(副会長)

社会教育委員会 交通安全対策委員会 給食センター運営委員会 都市計画審議会

・新人議員として町のため、伊豆半島のために奮闘します (ノハノ)

・詳しい内容は、ブログ・議会だより・役場ホームページの議会議事録をご覧ください。

・Facebook / Twitter @MamoruSusa HP [http://knossos.id/diin\\_mamoru/face1.htm](http://knossos.id/diin_mamoru/face1.htm)

後援会大募集!



ちなみに、鹿角市で使用する電力のすべてが自然エネルギーでまかなわれているということです。

### 体験型教育旅行の研修会

西伊豆いきいき活性化協議会のお誘いで教育旅行の受け入れ研修会に参加しました。

東伊豆町の場合、大きな温泉場があるのでなかなか行政も教育旅行まで力を入れてくれませんが、小規模旅館や民宿・ペンションもあります。素晴らしい体験旅行が期待できます。(1/22)

### 雛のつるし飾り俳句大会

今年で3回目になる「雛のつるし飾り俳句大会」が、1/2



左から町長賞の丹治さん、旅組長賞の山崎さん、教育長賞の遠藤さん、そして原霞先生。私も7位に入りました!

9に町役場で開催されました。俳句愛好者の皆さんはともお元気で、粉雪のちらつく陽気でしたが多くの方が参加されました。私は参加者で見ると一番の若手になります。皆さんから見ると「息子」みたいなものです。

ちなみに2/27には「大川温泉・やぶ椿俳句大会」も開催されました。

### 東村山凱旋!

幼稚園の年長組から大学時代を過ごした東村山に凱旋しました。「多摩湖町」というところに実家があるのですが、ほんとに久しぶりの帰郷でした。

「東村山」と言えば志村けん!と思われるかもしれませんが、その通りです。わが故郷が誇る大スターです。

私が小学生のころ「8時だよ全員集合」がちょうど人気絶頂のころでした。皆さんがよく知っている「東村山音頭」これ実際にあります。

そもそもなぜ東村山市役所に来たかというと、雛のつるし

飾り祭りと河津桜祭りのポスターを庁舎内に貼ってもらおうと持参したのです。渡部市長と熊木議長に高々と掲げていただきました!お忙しいところ、本当にありがとうございました。



東村山市と東伊豆町の交流を深めていきたいと思えます。

### 被害住民の聞き取り調査

今日は天目山にあるCEF風力発電被害者の現地調査を行いました。平成18年に風車建設が発覚し、試運転段階でかなりの被害が周辺一帯に広まり、風車問題解決のため様々な形で住民が問題提起してまいりました。その一方で声を上げずにご東伊豆町から出て行った方も大勢います。

三井大林自治会と町、CEFの三者協議の成果として、一部に低減運転が見られたものの、依然被害を訴える方がいることは事実です。これまで議会の方でもこの問題を取り上げ、町側へ解決に向けた行動を起こすよう働きかけてきました。そんな中で、住民側から町長・議長宛に「要望書」を提出しました。いずれも現地をつぶさに見ていただき、被害住民の声を聴いてくださいというものでしたが、町長からの回答は、低周波が認められない以上手の打ちようがなく現地視察に関しては職員を行かせるというものでした。

議会の方では、議長に要請してきましたが態度を硬直化させました。そこで、議員全員に今回の案内を配布したところ、鈴木副議長と飯田議員、この問題に深い関心を寄せられる山田議員に積極的に参加してもらうことができました。

低周波被害ということも考え、と県や国に対し実際に被害にあっているんだという現実を直

・新人議員として町のため、伊豆半島のために奮闘します (ノハノ)

・詳しい内容は、ブログ・議会だより・役場ホームページの議会議事録をご覧ください。

・Facebook / Twitter @MamoruSusa HP <http://knossos.ip/diinmamoru/face1.htm>



視してもらい、認めてもらうことが必要だと考えています。環境省の見解は、次年度早々にも出される予定です。また、この問題を引き続き協議するため「風車幹事会」を定期的に開催



東伊豆町から離れた方も含め、17名の方が思いを述べた。

することにしました。

### 3月議会一般質問&

#### 一般会計予算審議

「防災対策について」海抜表示、災害ボランティア本部の設置場所、デジタル防災無線。

「森林資源の活用について」町有林、県の政策との兼ね合い、間伐林の利用、薪ストーブへの補助。

「観光政策について」ミスツルシ離れの観光PR、熱川温泉振

「富士山の日」について「富士より天城を見直したらどうかなど。

平成24年の3月議会は平成24年度予算の審議をするとても大切な議会です。東伊豆町の予算は三本立てになっています。一般会計予算は47億円で、昨年度(23年度)と同額です。このほかに国民健康保険や介護、医療、風力発電などをひっくるめて特別会計というのがあります。こちらは35.5億円ほど、そして水道会計、こちらは6億。全部合わせると88.5億円になり、前年に比べ特会が後期高齢者の医療費の伸びがあった関係で微増になっています。

#### 賀茂地区の医療勉強会

地域医療に関して勉強会がありました。県の課長さんの話によれば、賀茂地区の医療の課題は、大きく三つあり、一つはドクターヘリの問題、二つ目は二次救急、三つ目はベッド数と病院建設の問題です。

まず一つ目の「ドクヘリ」で

が、東伊豆町では、23年度8月が10件、1月が12件と高い出動件数になっています。23年度通してドクヘリが飛んだのは944回(3月末集計)、そのうち賀茂地区が23.5%と高い数値になっています。(東部57.1%、中部7.25%、西部32.12%)今後は夜間飛行について議論を重ねていく必要があります。

いくつか賀茂圏域で発着場の候補があるようですが、やはり騒音などの問題もあるようです。

二つ目は二次救急です。定義としては、「入院治療を必要とする患者に対応する機関」であり、都道府県が定めた医療圏域(二次医療圏)ごとに整備するため、市町村の垣根を越えた整備が必要なのが多い。この点で、東伊豆町では東部総合病院の建て替えを医療法人に打診している段階です。

三つ目としてベッド数(病床数の問題)です。ベッド数は各医療圏域で枠が決められていて、その圏域内に複数の自治体が

あれば、取り合いの状況になります。特に賀茂地区の場合、超高齢化が進行しているので、どの自治体でも確保しておきたいものと考えます。

勉強会の後、「下田メディカルセンター」を視察しました。もう皆さんご存知のように、共立湊病院が生まれ変わって南校跡地に建設されているものです。CTスキャンなどたいへん高度な医療設備もありましたし、病床から地下の耐震柱まで津々浦々拝見させていただきました。(3/27)



地震に備えた免震構造になっているが、津波への備えは万全ではない。

皆さまからのご意見を  
お待ちしております!